

# 聞思

今号の法語  
叱られた  
恩を忘れず  
墓参り  
古川柳

発行所 光山寺  
〒758-0063  
萩市 大字山田4553  
TEL (0838) 22-1370  
https://光山寺.net

# 門徒会費納入のお願い

ご門徒の皆さまには益々ご清栄にてお念仏ご相続のごことお慶び申し上げます。平素は光山寺の護持発展に格別のご尽力ご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

さて、光山寺の護持につきましては、今日までご門徒からの門徒会費(護持会費)の徴収は致しておりませんでした。永代経法要・報恩講法要等による懇志収益によつて、本山本願寺への賦課金(税金のようなもの)・山口教区賦課金・萩組賦課金、また火災保険などをなんとか捻出して参りました。

しかしながら、春に配布いたしました「お願いと経緯について」に記載いたしましたように、昨今の過疎化、お参りの減少など寺院を取り巻く環境変化は著しいものがあります。光山寺建物の維持管理(保険料の高騰)、寺院の護持のためには、ご門徒の皆様からの門徒会費徴収をお願いせざるを得ない状況となりました。

光山寺護持会で縷々検討した結果、本年度(令和六年)より山口県内の門徒会費の平均額でもある五千円を、ご負担いただくこととなりました。

山口県内の浄土真宗寺院、六五三ヶ寺の中で、門徒会費を徴収していないのは、光山寺を含めて二十数ヶ寺という状況です。

具体的には、十一月の報恩講に合わせて徴収を開始いたします。市内ご門徒や有縁の皆様には十一月中旬に、お世話人より徴収用袋を配布いたします。できるだけ報恩講時にご持参納入いただけたら幸いです。受付は法要時受付とは別に設ける予定です。また、市外ご門徒の皆様には、振込用紙をお届けする予定です。

ご門徒の皆様には、物価高騰による出費多端の折柄、またご迷惑をおかけすることになります。何卒ご理解を賜りご協力いただきたくお願い申し上げます。

## ■仏教婦人会法座の「報告」



光山寺仏教婦人会会長、来島和子さんから仏教婦人会法座におけるバザー報告を頂きました。

「去る八月二十三日(日)曜日、光山寺仏教婦人会法座に、新調した伝供衆(献華、献灯、献供、献香)が、緊張した面持ちで入場してまいりました。法座終了後に開催したバザーでは、夏みかん菓子、ケーキ、クッキー、ピザ等、手作りのお菓子を何日もかけ、多くの方々のお力をお借りして揃えることができました。お買い上げ下さった皆様にも喜んでいただけたと思います。

お陰様で、バザーの収益金は七万八千九百八十四円。今年は能登半島地震災害義援金として、本堂に設置しております募金箱と合わせて、十万円を送金させていただきました。

これからも婦人会バザーは続けてまいります。バザーについてご意見ご要望をお聞かせいただけたらと思います。

最後になりましたが、お掃除や法座の準備、御齋の準備をして下さった皆様、本当にありがとうございました。」

※本年度より仏教婦人会法座は六月末の日曜日の一日のみの開催となりました。バザーは継続予定ですので、どうぞ皆様には来年もお誘い合わせてお参りください。

### ■仏教壮年会主催「グランドゴルフ大会」参加者募集

仏教壮年会(会長、尾方忠久)では体育部(部長、西本一夫)行事の一環として、十月二十日(日曜)午後二時、白水小学校グラウンドにてグランドゴルフ大会を開催します。(雨天中止)一位〜三位までの皆さんには光山寺より景品が出る予定です。

参加には男女・性別を問いません。できるだけご自身の道具をご持参ください。尚、参加申込は、壮年の皆様は壮年会地区役員へ、女性の方は光山寺まで直接、お名前・住所・連絡先電話を書いてお届けください。(参加費無料)会場の都合により参加希望者が多数の場合には、三十名にて締め切らせていただきます。

また、壮年会の皆様には午後四時半より光山寺庫裏にて慰労懇親会を開催します。(雨天決行)懇親会への参加もできますので、お申込ください。(参加費千円)

## 光山寺行事案内

関連行事には  
カレンダーに◎印を!  
令和六年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

### ★光山寺法要関連

- 十月一・二日(火・水曜) 秋季永代経法要(講師、市川幸佛師)  
※御齋は両日とも用意しています。
- 十一月二八・二九日(木・金曜) 報恩講法要 (講師、二木文生師)  
※門徒会費納入開始日

### ★山口教区・萩組関連

- 九月三〇日(月曜)・十一月六日(水曜) 萩組連研
- 十一月二五日(月曜) 山口別院にて帰敬式
- 十一月二六・二八日(火曜・木曜) 山口別院報恩講法要(山口別院) 萩組参拝日二七日

### ★子ども会(土曜学校) 関連

- 十二月七日(土曜) 子ども報恩講(萩組、後日詳細あり)
- 十二月三一日(火曜) ※除夜会(富くじ抽選会あり)

### ★仏教壮年会関連

- 十月二〇日(日曜) 午後二時 グランドゴルフ大会(白水小)
- 十一月二八日(木曜) 午後七時 報恩講夜座
- 十二月十四日(土曜) 午後六時 光山寺仏教壮研修会・忘年会

### ★仏教婦人会関連

- 九月二九日(日曜) 午前八時半 秋季永代経の清掃
- 十一月二六日(火曜) 午前八時半 報恩講の清掃
- 十月二一日(月曜) 午後八時(本堂)

### ★お経の練習会(旧、礼讃の夕べ)

- 九月一四日(土曜) 十月十二日(土曜) 午後八時(本堂)
- 九月二九日(日曜) 午後七時半(庫裡)

### ★雅楽練習会

- 九月二九日(日曜) 十月二七日(日曜) ※詳細はお尋ねください。

### ★仏教讃歌コーラス練習会(本堂)

- ※原則土曜日の午後四時四十分より。



お告知のせ

今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま、宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山で門主によつて執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただきます。(山口別院では、椅子席にて帰敬式を受式できます)



日時は十一月二十五日(月曜日)、午後一時より受付、午後一時半執行。冥加金は成人一万円三千円・未成年八千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月七日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が可能です。九月九日までとなっております。尚、本山での帰敬式は従来どおりに毎日2回行われています。

法要時間変更のお知らせ

永代経法要(春・秋)や報恩講法要の午後座の開始時間が本年の秋の永代経法要より変更となります。午後一時半から午後一時へと三十分ほど早くなります。午後よりお参りの皆様にはお間違いないようお願いいたします。

報恩講 夜の座

光山寺の報恩講日程は、今年十一月二十八・二十九日の二日間の予定、朝・昼・夜の合計五座の法座が勤修される予定です。日程の関係上、仕事などで聴聞ができない方々のために夜の座が開かれています。今年報恩講では夜の座が十一月二十八日午後七時より開かれます。本年のご講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけかと思いません。また、夜座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜座が仏教壮年会の研修をかねていますので、仏教壮年の皆さまには万障繰り合わせの上ご参加ください。

お願い

納骨堂の継承者の変更等がありました時には、必ず書面にて申出ください。特に、近年は固定電話を廃止される方が多く、携帯電話番号が不明ですと、住所変更後に連絡がつかなくなる場合が発生しております。また、固定電話を廃止されましたご門徒の方におかれましては同様にお願いいたします。

山口別院より令和六年能登半島地震に関するお知らせ

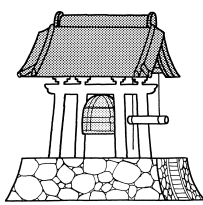
浄土真宗本願寺派「たすけあい運動募金」より義援金の窓口が開設されています。また、本願寺金沢別院内に令和六年能登半島地震 浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センターも開設されています。本願寺山口別院では、上記義援金及び支援金の受け付けを行っております。

山口教区郵便振替口座 01590-9-26575 (山口教区教務所教化団体)

※払込取扱票にご送金の内容として「義援金」または「支援金」のご記入をお願いします。義援金につきましては、宗派「たすけあい運動募金」へ送金させていただきます。支援金につきましては、石川教区をはじめとする被災教区へ直接送金させていただきます。

除夜会で富くじ抽選会を今年も開催

大晦日恒例の除夜会では、今年も富くじを実施いたします。例年、除夜会は大晦日午後十一時半すぎより開催されます。平成二十六年より、鐘をつかれる方全員に富くじ抽選券を配布し、除夜会終了後の新年のお勤めの「修正会」に引き続き、富くじ抽選会を実施しています。鐘をつけなかつた方にも抽選券を配布しますので、お越し下さい。



念仏者列伝(七里恒順)

出生と修学 七里和上は、新潟県長岡市飯塚・明鏡寺に天保六年(1835)七月十一日明鏡寺第十三代、井上宗鏡の次男として誕生しました。翌年天保七年は「天保の飢饉」、黒船渡来などで世の中は混乱、騒然としていました。弘化二年(1845)十一歳で得度。十四歳から僧郎勤学、十五歳から宣界司教、二十歳から九州に移り、月珠勤学。二十三歳から宣正師、二十五歳から田丸慶忍師、二十八歳から南溪師に師事し、三十歳まで十六年間、刻苦勉勵の修学時代を過ごされます。元治元年(1864)十一月、博多の萬行寺に赴かれ、翌、慶応元年(1865)十月二十七日萬行寺第十九代住職に就かれます。



萬行寺との出会いと活躍

命により博多で布教を行っていた弟子の空性が1859年、普賢堂町に草庵(道場)を開いたのが始まりといわれています。五世正海、十世正賛、十七世曇龍、十九世恒順、等の高僧が出ています。寺の歴史の中でも代表的な名僧となりました。

教育活動と功績 慶応三年(1867)私塾「甘露窟」を再開し

教化活動を開始され、明治九年(1876)には百日講を作り、師匠の勤学・田丸慶忍師を招いて近隣の僧侶の教育にも取り組まれました。以後、要籍会をつくり道俗の教化に当たり、また、恵以真会、開明会を起して庶民から知識人に至るまで広く教化に当たります。そして明治十四年には、六歳から十五歳までの男子・女子を集めて「教童講」を開き、子供の仏教教育に当たり、坊守講を設けて各寺の坊守の教化にも当たりました。このようにあらゆる人々への布教活動に努め一日も法話を欠かすことは無かつたそうです。当時は、明治維新の中、神仏分離令による廃仏毀釈の流れが押し寄せ信仰上からも混乱と動揺が僧侶をはじめ門信徒をも襲いました。その中で七里和上は危機感を覚えられ、猛然と立ち上がり、お念仏繁盛に邁進され「お念仏しなされや」と、信心を頂いて、報恩の念仏行に勤いそむことを強く勧めていかれました。仏教批判の福沢諭吉と対論し仏教の正当性を述べ、諭吉が七里和上の博学、人格に敬意を払つたと「梅林閑談」にその記録が見られます。

七里和上の信仰は円熟し、「仏を拜むなら本願寺さまへ参れ、法を聞くなら萬行寺さまへ参れ」と言われるほどで、門前には聞法のための宿が軒を連ねたそうです。萬行寺の自慢は、随時お聖教を五〇冊揃えており、何人の学生が来てもすぐに勉強できる環境が整っていたそうです。質素に心掛けられ、常に木綿の白衣、法衣も切れ破れた物を糸で綴つて着られ、お念仏一筋の日常であつたそうです。明治二十六年(1893)病気で倒れられますが、病床よりお同行を導かれました。

エピソード

ある時、寝ておられるところに泥棒が入り「お金を出せ」との声に、「床の間の箱の中にある」と告げると、泥棒はそのお金を持つて逃げようとした。そのうしろ姿に向かつて「そのお金はご門徒様から阿弥陀様に御供え下されたものだから、本堂の阿弥陀様にお礼を申してから帰ってくれ」と告げたそうです。後日、警察から泥棒が捕まったとの連絡が入り、警官が和上に「泥棒が入つたなら、届け出てもらわないと困ります」と述べると、和上は「盗られたつもりはない。お金が欲しいとやってきたものは居る。その者には本堂の阿弥陀様にお礼を申してから帰れと申し述べたことにはあります。」との返答。刑期を終えて出てきた男を、縁あるものだからと萬行寺の会計係りとして身請けをして雇い入れます。感激したその男は立派に更正し、生涯ミスすることが無かつたそうです。